

第4学年1組社会科学習指導案

令和元年

児童数

指導者

場 所 4年1組教室

1 単元名 「住みよいくらしをつくる」

2 単元について

(1) 児童の実態

(2) 題材について

本単元は、学習指導要領の4年生の内容(3)イの「地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、自分たちの生活や産業との関わりを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする」を受け設定したものである。

わたしたちが生活で使っている水は、様々な人々の工夫や努力のおかげで飲料水として送られてきている。森林を保全したり、ダムを建設したりすることで、水源が確保・維持されている。また、浄水場で働く人々が様々な工夫をしたり、水質試験所で水質検査を行ったりすることで、水源地から各家庭に安全な水が安定供給されていることを学習する。

本単元では、生活で使っている水が、浄水場などの関係機関と地域の人々が互いに協力し、様々な工夫や努力をしているのおかげで送られていることについて、教科書やデジタル資料で調べ、理解できるようにすることをねらいとしている。また、児童一人一人も地域社会の一員であるという意識を持ち、健康な生活や良好な生活環境、安全な社会を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識を育てることに適していると考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

指導に当たっては、「学習問題をつかむ」過程で、水をどのような場面で使っているか思い出させ、たくさんの水がどこからどのように送られてくるのか考えさせることで、学習問題を設定する。そして、学習問題について、一人一人予想を持たせ、交流活動を行わせることを通して、具体的な調べる内容である「どこから」送られ、「どこで」「どのように」きれいにされているかという問いを立てさせる。さらに、それぞれの問いについて、調べる方法まで考えさせ、学習計画を立てさ

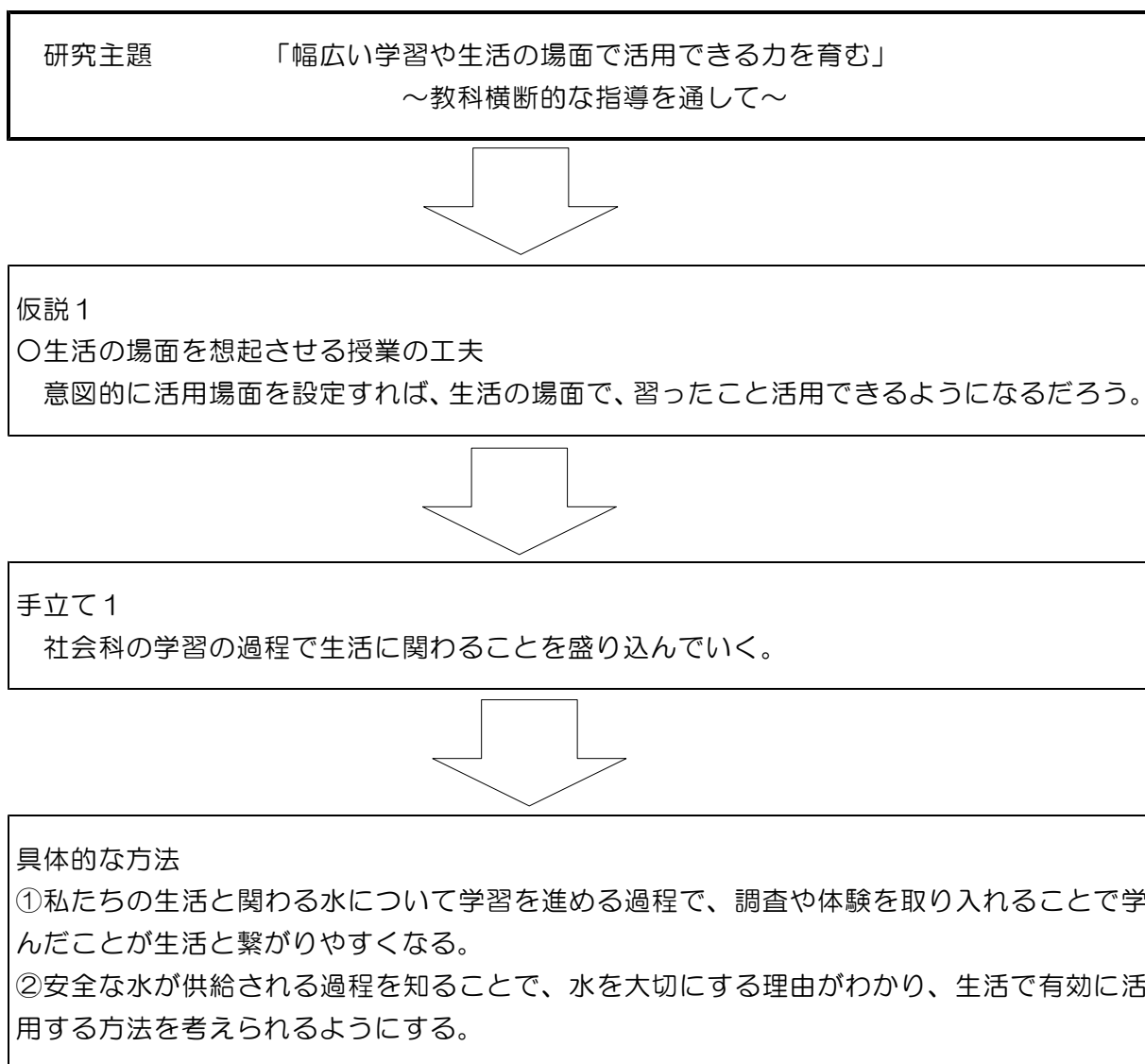
せる。

「調べる」過程では、学習計画を立てるときに出された「水はどこから来ているのか」「どのようにきれいにされているのか」という問いを中心に、浄水場見学やそこで働く人々からの聞き取り調査、教科書、地図などの資料を基に調べ活動を行わせる。また、毎時間、学習問題を振り返らせることで、調べた事実同士を関連付けて考えさせるようにしていきたい。

「考え・まとめる」過程では、これまでのノートやワークシートの記述を振り返らせ、学習問題についての自分の考えを、循環図を中心とした新聞にまとめさせるようにする。また、その際は、節水や飲料水の再利用など、自分でも協力できる取組についても考えさせるようにする。

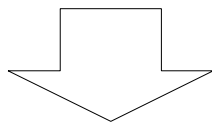
本時では、ダム働きや造られている場所を調べながら各県をまたがった協力によってダムが機能しことを理解する。教科横断的な指導では理科の手回し発電機を活用して、水力発電のしくみを理解させる。また、水を利用して気温を下げる等の有効活用方法や節水の大切さについて生活の場面で水利用についても考えさせたい。

3 研究主題との関わり



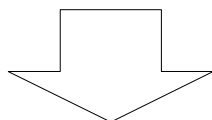
仮説2

いろいろな教科が関わることで、(生活の場面で)活用できる教科の幅が広がるであろう。



手立て2

理科の学習と関係があることを取り入れることで、学習への理解が深まるとともに、他の学習場面でも教科横断的な思考の能力が高まる。



具体的な方法

- ①水力発電の原理を説明するにあたり、手回し発電機を授業で活用することにより、児童が社会科の学習でも理科の学習の要素があることに気付かせる。
- ②水は水蒸気・水・氷(雪)という状態があることを認識させ、4年生の理科「水のすがた」の学習で活用できるようにし、学習効果をあげる。

4 単元の目標

飲料水の確保に関わる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解して、これらの活動に関心を持ち、見学したり、具体的資料を活用したりして意欲的に調べ、地域社会の一員としてよりよい生活環境について考え、適切に表現することができるようにする。

5 評価規準

社会事象への関心・意欲・態度 【関】	社会的な思考・判断・表現 【思】	観察・資料活用の技能 【技】	社会的事象についての知識・理解 【知】
・市の飲料水の確保に関わる対策や事業について、関心を持って調べようとしている。 ・地域の一員として、川や森林の環境を守る活動に関心を持ち、自分から節水や飲料水の	・市の飲料水を確保するための対策や事業について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ・飲料水に関わる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な	・具体的資料を活用し、必要な情報を集めて読み取ったり、まとめたりしている。 ・飲料水の確保に関わる対策や事業を的確に見学 ・聞き取り調査している。	・飲料水の確保と自分たちの生活や産業との関わりを理解している。 ・飲料水の確保に関わる対策や事業は、計画的、協力的に進められていることを

再利用などの取組に協力使用としている。	生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	理解している。 ・飲料水の確保に関わる対策や事業が、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。
---------------------	--	---

6 指導計画（ 10時間 本時 5/10 ）

過程	学習内容	評価規準と評価方法
つかむ	①水の使われ方、1日に出されるゴミの量 ・使っている場面 ・絵や文にして表現	※水の使用量や、ゴミの処理が私たちの生活に欠かせないことを気付こうとしている。【関】
	②水を使っている場面、市の人口の変化と給水量のグラフ ・プール・飲み水・歯みがき・料理 ・水は生活や産業のいろいろな場面で使われる大切な資源 ・水が不足すると生活に市支障 ・グラフの見方	※水は毎日の生活や産業に欠かせない大切な資源であることに気づき、生活との関わりに関心をもっている。【関】 (発言・ノート) ※人口と水道量の変化から人々の生活との関係をつかもうとしている。 (発言・ノート)【技】
	③水の循環図 ・学習問題	※水の循環の概念図から、水は繰り返し使う物であることを読み取る。 (発言・ノート)【技】 ※市の飲料水の確保や対策事業について、学習問題を考えようとしている。 (行動観察・ノート)【思】
	学習問題 わたしたちの生活に欠かせない水は、どこでどのようにしてつくられ、送られてくるのでしょうか。	
	④水のふるさと ・利根川や荒川の流域 ・地図帳の索引の活用	※山の森林を大切にしている理由や、植林をする理由を読み取る。 (発言・ノート)【技】 ※山の森林を大切にしている理由や、植林をする理

		由を説明する。 (行動観察)【思】
調 べ る	⑤ダムの働き(本時) ・洪水の調節 ・水の安定化・河川環境の保全 ・発電 ・ダムの分布	※埼玉県、群馬県のダム地図から、どのような場所にダムがあるのかを読み取る。(発言・ワークシート)【技】 ※ダムの働きを理解する。 (発言・ワークシート)【知】
	⑥⑦浄水場の働き ・東部浄水場 ・熊谷市水道 ・埼玉県営水道	※イラストにまとめて、浄水場の水をきれいに するしくみを理解する。 (作品・行動観察)【知】
	⑧いつでも水を送るための工夫 ・自家発電装置 ・給水車 ・予備ポンプ	※自分の地域がどの浄水場から水が送られて いるのか調べ、身近な施設に関心を持つ。(発言 ・ノート)【関】 ※浄水場の分布、浄水場の役割の資料から、飲 料水に関わる対策や事業の意味を読み取ったり、 まとめたりしている。(発言・ノート)【技】
ま と め る	⑨大切な水を繰り返し使う工夫 ・限りある水 ・下水処理場 ・学習問題のまとめ	※下水処理場の役割について理解すると共に、 水は何回も繰り返し使わないといけない貴重な 資源であることを資料から読み取る。(発言 ・ノート)【技】 ※水を繰り返し使えるようにしていくことによ って、社会にとってどんな意味があるのか、ど んなよいことがあるのかを考えている。(発言 ・ノート)【思】
	⑩水の流れのまとめ ・水源の森 ・浄水場 ・他の市や県の人々と協力 ・ダム	※水道水確保のための対策や事業は、地域の 人々の健康な生活や良好な生活環境の維持や向 上に役立っていることについて、学習問題のま とめで適切に表現している。(作品・ノート)【思】

7 本時の学習指導

(1) 目標

- ・埼玉県、群馬県のダム地図から、どのような場所にダムがあるのかを読み取る。【技】
- ・ダムの働きを理解する。【知】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ◎評価 ☆教科横断 ★生活場面
1 本時の課題を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ダムにはどのような働きがあり、どのようなところにあるのかを調べましょう。 </div>		
2 青いダム、緑のダム、白いダムとは何かを児童に考えさせる。		○クイズ形式で出題し、児童に意欲を持って考えさせる。 ○グループで話し合う時間を設け、主体的に活動する場とする。 ○「郷土くまがや」デジタル版を活用し、児童の理解を深める。
3 資料を見てダムの働きを調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水の調節 ・水の安定化・河川環境の保全 ・発電 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 6年生の理科で発電の実験をするので見てください。 </div>	○児童が取り組みやすいように、洪水の調節については資料を提示して全員で確認する。言葉が難解であるので、言葉について説明を行う。 ☆発電について、6年生の理科で学習することに触れる。 ◎ダムの働きを理解している。【知】
4 利根川と荒川の水資源開発の様子を資料を活用し、ダムがどのような場所に多いか調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県と群馬県の山間部 ・県をまたがったの協力 	○資料から見つけられない児童には、利根川と荒川が主に流れている県を思いうかべればよいことを支援する。 ○次時以降のために、平野にある利根大堰に付いても確認をする。 ◎埼玉県、群馬県のダム地図から、どのような場所にダムがあるのかを読み取っている。 【技】
5 本時のまとめを行う。	○ダムには洪水や水不足を防ぐ役目がある。また、電気をおこすことができる。ダムは埼玉県と群馬県の山間部にある。	○水資源の確保には、埼玉県だけでなく他の県との協力が必要であることに触れる。 ○ダムの建設には、多くのお金がかかっていることも伝える。

6 学校の近くにも、ダム
ではないが水をためられ
る場所があることを知ら
せ、そこはどこかを考え
させる。

この水の性質を使った昔か
らの習慣に「打ち水」とい
のがあります。今年の夏、機
会があったら家の人とやっ
てみましょう。残り湯を使
うと大切な水を節約でき
るよ。

7 本時の振り返りをする。

○学校の南西に広がる田んぼには、多くの水が貯められていることや、その多くの水が気温の上昇を穏やかにしていることを知らせる。

★「打ち水」といって、暑い夏を快適に過ごす方法があることを説明する。風呂の残り湯を使えば、水資源の有効活用になることも説明する。水はダムから送られてきた大切な資源であり、ダムの働きにより持続的に環境が守られていることにも触れる。

○本時の学習課題に対する自分の学びがどうであったかや、新たにわかったことについて振り返りを行い、文章で記入させるとともに、次時への意欲付けを図る。

8 板書計画

<p>① 課</p> <p>ダムにはどのような働きがあり、どのようなところにあるのかを調べましょう。</p>	<p>青いダム 緑のダム 白いダム</p> <p>人が造った 木の葉や落ち葉が水をためる</p> <p>ダム</p>	<p>雪がとけると水が流れる</p>
	<p>滝沢ダムの写真と治水の図</p> <p>○山にふった雨が一度に流れるとこう水になる</p> <p>○ダムは山にふった雨をためることができる</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ダムの働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こう水をふせぐ ・ 水不足をふせぐ ・ 電気をおこす 	<p>利根川と荒川の水資源開発の図</p> <p>埼玉県 群馬県 山に多い</p> <p>ほかの県と協力</p> <p>まとめ</p> <p>ダムにはこう水や水不足をふせぐ働きがある。また、電気をおこすこともできる。ダムは埼玉県と群馬県の山に多く、ほかの県と協力している。</p>